



3年間暮らしたアパートで撮影



3年A組の最後の授業で記念撮影



この日は世界の音楽を聞いて国名を当てました



その答えにいくらかけますか? 「How much?」



みんな笑顔でシーメンス先生とハイチーズ!!

シーメンス先生、 3年間ありがとうございました

2001年8月から淀江中学校で英語指導助手として勤務されていたキャサリン・シーメンス先生が、3年間の任期を終えられました。8月からは西伯町に勤務されるそうです。そこで、いつも明るくて優しいシーメンス先生に淀江での3年間をインタビューしました。

①淀江中学校生活で思い出に残っていることは何ですか?

A. 運動会。文化祭。生徒たちと話しながら準備して楽しかったです。

②困ったことは何ですか?

A. 淀江に来たばかりの頃、字が読めなくてつらかったです。買い物のとき表示してある説明がわからなくて困りました。

③淀江の中学生の印象は?

A. とてもフレンドリー、歓迎的で優しい。淀江の中学生が大好きです。

④日本で挑戦した日本的な習い事は何ですか?

A. 傘踊り、太鼓、合気道

⑤日本国内ではどこに旅行に行きましたか?

A. 徳島、広島、大阪、京都、宮崎、鳥取、鳥根……。国立公園が好きです。鳥取は大山もあって海もあって、住みやすく一番大好きです。

⑥好きな日本の食べ物は何ですか?

A. お茶漬け、お好み焼き

⑦苦手な日本の食べ物は何ですか?

A. 生の貝。さしみは少ししか食べられません。

⑧お礼を言いたい人は誰ですか?

A. 教育委員会のみなさん、中学校の先生方はもちろん、私が淀江に来て2日目にAコープで出会って家に呼んで一緒にごはんを食べさせてくれた8区の景山さんにお礼を言いたいです。

⑨淀江のみなさんに一言

淀江に住むのが大好きでした。道や店で出会ったとき「こんにちは」と声をかけてくれて、みなさんとても優しくかったです。3年間、ありがとうございました。